

江津市議会報告会実施報告書

開催日時	平成28年11月11日（金）19時00分～20時30分
開催場所	波積ふれあいホール
出席議員	責任者 田中利徳 報告者 土井正人 森川佳英 永岡静馬 記録者 坪内涼二
参加市民数	3人
実施内容報告	議会報告 総務文教委員会報告・・・土井議員 建設厚生委員会報告・・・森川議員 予算委員会報告・・・永岡議員 決算特別委員会報告・・・森川議員
	パネルディスカッション テーマ「山陰道と道の駅について」 問1：現状について ■土井議員 福光浅利間平成28年4月事業化決定、環境調査ののち測量、用地買収、設計、工事の流れで10年くらいの年数がかかる。もう少し早くなるのではないか。江津工業団地から江津への県道・トンネルは出来ており、平成30年8月くらいには開通するのではないか。浅利福光間が遅れている。全線開通には時間がかかるが1日も早く開通するよう要望していく。 ■森川議員 早期全線開通は当然していかなければならない。道の駅との関係で、サンピコ江津ができるときに販売・交流・発信の目標があった。販売については消費者の立場と農業者の立場で違いがあり、農業者にとっていまいちまだ利便性があがっていない。出荷すれば収入があがる仕組みになっていないので、もう少し仕組みが必要。地産地消の目標設定をすべき。交流については、一般的なイベント、人集めのイベントは実施しているが農業者が中心となることができる工夫が必要。発信についても工夫が必要。特産品の発信強化、一般的な発信ではなく農業の情報がキャッチできる発信をしてほしい。地産地消がテーマで、他県産の商品があるのは解消する方向。学校給食で地元5割くらいだせる核として道の駅を発展させる必要がある。 ■永岡議員 サンピコの状況は、入場者数27年度15万6800人程度、前年度7%増、27年度売上も9%増。良好な数字で推移している。地元農家の農産物の受け皿として機能しており、一定の成果を出している。食堂、スタンドも隣接しており立地条件もよい。地元市民も大いに利用しているのではないか。また地産地消を進める拠点となっている。課題は供給規模が小さく、安定供給がなかなかできない点。品質確認ができにくい。山陰道延伸事業化決定の影響、命をつなぐ道として整備してほしい。9号線1日9,000台が、開通後は1000

	<p>台となり 9 分の 1 になる予測もある。道の駅にどれだけ来てもらえるかの仕組みが必要。</p> <p>問 2：活性化策について</p> <p>■土井議員 どうやって人を呼び込むか。福光浅利間は当面、今の状況が続く。9 号線利用、その時間を利用して知恵を絞る。特に東部地域の人を中心に考える必要がある。側道作る際に山を切り開いて、人が集まる施設をつくり、サンピコに農産物加工所を整備するなど。もう少し時間があるので、その間に知恵を絞り、人が集まる施設にしていかなければならない。</p> <p>■森川議員 全国発信の基地として頑張る。野菜宅配便、高速を使って届ける。四季のものを提供する。広島方面へ出していく戦略。文化祭など書道などの展示スペース、市民憩いの場にすることで、より一層通うようになる。自由に使えるブース、空間を開放して、不特定多数を集めて、総合的に魅力化を実施する必要がある。</p> <p>■永岡議員 萩・しーまーとを視察した。隣に漁港、豊富な魚介類あった。好条件で展開しており、うまくいっていた。地元を大事にする発想でやっていた。地元からも外からもやってくる。さんぴこは、これまで行政が主体で引っ張ってきたのではないか。これからはさんぴこ自体が企画立案、主体的に事業展開する必要がある。利用者としては、大黒食堂との隙間があるので、同線としてはお客さんが横切るところなので、従業員や業者はモニュメント側から出入りするようになった方がよい。人の流れがしやすい。別々の建物だが、一体として考えた方がよい。海と風車、景観がよくなるように、9 号線沿いの雑木を伐採し、眺望がよくなるようにしたほうがよい。</p>
意見交換	青波インターのことなど、初めて聞いたことがあったので、そういった情報を積極的に地域に流してほしい。
要望・意見等	特になし
その他特記事項	特になし

平成 28 年 11 月 30 日

江津市議会議長 田中 直文 様

江津市議会報告会実施報告書

開催日時	平成28年11月12日（土）19時00分～20時40分
開催場所	跡市地域コミュニティ交流センター
出席議員	責任者 田中直文 報告者 坪内涼二、鍛治恵巳子、多田伸治 記録者 田中利徳
参加市民数	8人
実施内容報告	議会報告 総務文教委員会（鍛治恵巳子） 建設厚生委員会（坪内涼二） 予算委員会（多田伸治） 決算特別委員会（坪内涼二）
	パネルディスカッション 「空き家対策について」 司会（田中）…江津市版総合戦略を策定し、人口減少に歯止めをかけ活力ある住みやすいまちづくりを目指している。具体的な定住対策として、空き家を地域資源と位置づけ、全国に先駆け「空き家登録バンク」を設けるなど空き家対策に取り組んでおりますが、その現状について伺います。 鍛治議員…空き家を利用したゲストハウスの設置などのように定住対策に利用している。江津市は良く取り組んでいると思う。今後の地域コミュニティの空き家を利用した定住対策等の取り組みや地域企業と連携した定住対策に期待したい。 坪内議員…有効利用できる空き家の所有者は「空き家バンク」に積極的に申し込んでいただきたい。課題としては、所有者の不明な空き家や状態の悪い空き家が多くあり問題である。崩壊が心配される空き家も多く、解体の助成金制度について「空き家対策特別措置法」を制定した国と共に条例制定等進める必要があると思う。 多田議員…定住集落活性化対策を行って入居したにも関わらず、利便性が悪いことを理由に退去された例もある。定住してもらうための行政と近隣住民のサポートが必要だと思う。 司会（田中）…本市も対策費を増額し積極的に取り組もうとしていますが、今後の空き家対策についてどのように考えるか。 鍛治…女性の子育てを支援する施策、若者のための安価な住宅も必要、江津市独自の空き家対策を企業として社宅として利用する。大学等の合宿の出来る施設としての空き家利用も考える必要がある。 坪内…農業希望者等に空き家と耕作地をセットにしたような、利活用できるための付加価値を付けること、老朽化

	<p>し危険を伴う空き家については解体しやすい助成金制度の確立が急がれる。所有者の不明な住宅をつくらないための対策が必要である。</p> <p>多田…所有者の不明な空き家は固定資産税等の関係から把握できるので少ないと思う。空き家についての情報把握に行政は積極的に取り組む必要がある。利ホームのための助成制度は地域の仕事を作り出すためにも役立つと思う。</p>
意見交換	<p>【質問】</p> <p>①済生会総合病院へ赤字補てんに、これまでにどのくらいの金額を支援しているのか。最近いろいろと不評でもあるので心配をしているのだが。そして、風の国や水の国への支援はいつまで続くのか。</p> <p>②陳情5号は、どこから提出されているのか。</p> <p>③三江線も大変だが、跡市地区では、バスとJRの接続についても配慮してほしいと思っている。医大通院する方は、午前中は快速列車に接続しているが、午後の帰りは全便特急で帰らなければならない。交通弱者の増える中、ぜひ検討してほしい。</p> <p>④空き家対策について跡市地区で大きな空き家は中学校小学校校舎であるが、自治会や地域コミュニティではどうしようもない。水道のない家が何軒あるかご存知でしょうか。ライフラインのないところで空き家対策などできない。</p> <p>⑤U I ターン者が定住するためには、自治会などの支援が必要だと思うが、自治会費の地域差を調整し低額にするなど、定住を促進するための方策について自治会連合会で検討する必要があると思うが。</p> <p>⑥先般、跡市小学校の統合先である津宮小学校の運動会に行ったが、駐車場は用意されていないから勝手に来てくださいでは困ったものだ。マイクロバスも利用できないので心細く感じた。統合された側の立場も考えることが大切なのではないか。</p> <p>【回答】</p> <p>①多田…今の場所に移転してからお金が随分出ている。一番多いのはここ5、6年のところで、合わせて20億円ぐらいお金が出ている。風の国の方にも、随分と出ている。水の国もそう。風の国は社長が変わって、コンサルタントを入れ、経営立て直しをしている。済生会は、つぶれてしまっは大変だ。つぶさないようなことをしないといけない。つぶさないための方法も議員の中で違って、それぞれある。個人的な意見としては、不評の部分、お金だけの問題ではなく、中の勤められているみなさんの意識を変えないといけない。状況としては、お医者さんも過労死寸前というところで働いている。人員が少ない中で看護師さんも</p>

	<p>大変な苦勞をしている。そのしわ寄せが患者さんやその付添いの方に当たったりということがある。たばこの件は、議会に説明がない。市からお金を出しているのだから、きちんと説明してもらわないといけない。風の国も来てもらえるようなサービスをしないとイケない。</p> <p>司会…済生会は病床も少なくなり、医師数が少なくなっていることから、体質改善に努めている。水の国は、入込客は昨年よりは増えているが、赤字体質が続いている。イベント等も行っているが、大きな成果は上がっていない。現在、こうした施設の見直しをしており、今後何らかの結論を出さないといけないかもしれない。風の国は、毎年900万円の赤字で推移している。改善の余地は見られている。入込客は、7万人いる。収益面で思うような実態になっていない。利用はされている。大きな雇用の場であり、30名近く働いている。大きな雇用の場をなくすわけにはいかない。公共施設の見直しも行っているところである。</p> <p>②多田…日本法輪大法学会から出ている。</p> <p>③多田…生活交通バスが使いにくい。変えないといけない。石見交通にも年間200万円ぐらい補助金出している。大きくなく、10人ぐらいのバスでいい。デマンド型のものもある。市内どこでも行く生活交通バスの運行を。新しい生活交通バスの路線を商工観光課で考えている。</p> <p>④多田…地域でどうにかするものではない。納得の上で進めるべき。廃屋については、市が積極的にやっていく必要がある。</p> <p>⑤多田…それぞれの自治体でやっていることが違う。若い世代が入るメリット、デメリットを計算してしまう。</p> <p>⑥多田…西部統合小学校は市庁舎の後になる。いつになるかは明確にはわからない。行事に参加できないのは、教育委員会が把握しないとイケない。みんなで学校を盛り上げていくことが難しくなる。</p>
要望・意見等	
その他特記事項	

平成28年11月14日

江津市議会議長 田中 直文 様

地区報告会責任者 田中 直文 ㊟

江津市議会報告会実施報告書

開催日時	28年11月18日（金）19時00分～20時30分	
開催場所	市山地域コミュニティ交流センター	
出席議員	責任者 永岡 静馬 報告者 河野 正行 多田 伸治 鍛冶 恵巳子 記録者 森脇 悦朗	
参加市民数	10人	
実施内容報告	各委員会報告	総務文教委員会（多田）・・・陳情第5号の説明、地方税法の改正に伴う市税条例等の一部改正する条例、金田・島の星の辺地区域の辺地計画の変更等条例議案の説明 建設厚生委員会（河野）・・・ひとまちプラザ運営協議会を設置する非常勤のもの報酬・費用弁償の一部改正等条例議案の説明 予算委員会（鍛冶）・・・スライド写真に基づき主な予算内容説明（28年9月補正予算について）
	パネルディスカッション	「地域公共交通について」 1.地域公共交通の現状についてどう考えるか。 多田 ：三江線が廃止される方針が決まった。生活交通バスが走っているが、市民からは使い勝手が悪いとの声あり。例として川戸～応儀医院 乗車率0.45/日など利用率が低い。変えていかないといけない。石見交通バスも利用少ない。高齢者が免許を返納しても不便。 鍛冶 ：バスに乗客が少ない。大きなバスを動かすことと小さいバスの比較が必要。一方で石見交通に運転手が集まらない。高齢者は、毎日乗らない。三江線も同じだが必要とする人に対する対策が必要。コンパクトにしなければならないが、現状としては、そこで働いている人もいるので、難しい問題だ。 河野 ：生活交通バスは、利用率は10月で44名（市山）、桜江で95人。スクールバスも走っている。道路がつながっていないと意味がない。バス路線もつながらないと、利用しない。どう見直すのか、今後検討していきたい。 2.「今後の地域公共交通のあり方について」どう考えるか。 多田 ：利用しやすくすること。川戸しか行かないが、本当は江津に行きたい人がいる。江津に行くには乗り換えないと行けない。市の方針が出たが、公共交通の接続点までしか行かない。ここを変え、本当に行きたいところに行けるようにする。生活交通バスでも川平～波積は、利用率が高い。これは、本来のコースより、

	<p>はずれて玄関先まで行っている。委託先の任意のサービスでしている。こうしたサービスができる様にすべき。デマンド型にして市山～川戸、松川～渡津に行く。行政視察先でも、もう少しお金を出せばできるはず、ワンコインで、こうした形でにぎわいを作る。もう一つ、業者委託により雇用につなげる必要がある。もう一つ、結節点の件、ここなら旭ICまでつなぐべき。一般質問でも聞いている。</p> <p>鍛冶：費用対効果が悪い。求められている場所の分析ができていないのではないか。車が変わってくる。水害、エコ車などもある。細かな対応を目指すのであれば、コミュニティで対応すべきだが、運転手が見つからないことも現実だ。将来、自動走行車も実用化されて、皆さんの願いをまとめていくことも考えられる。</p> <p>河野：利用者は病院、買い物に行くことが多い。近所の人、荷物が多いけどタクシーで帰るそう。地域コミュニティで送迎支援をすべきではないか。ワゴン車1台購入して、買い物、病院への交通に支援すべきではないか。</p>
<p>要望・意見等</p>	<p>①救急車 長谷地区は旭町からは、来てもらえない。川戸から来る。なぜ、つなげられないのか。タクシーで医療センターに行った方が早い。</p> <p>→救急車の問題。行政上の問題である。江津邑智消防組合に議員も出ているので、伝える。ドクターヘリの活用などで対応できることもある。</p> <p>②済生会病院の問題。喫煙問題。職員が数名吸っていたということだが、誰が吸っていたか、分かるはずだ。国、県からの補助金もあるが市も税金を投入している。</p> <p>→済生会病院の喫煙の問題は、まだ議会にも説明がない。これまで自分が議員になってから、約20億のお金が出ている。市長に改善を求めていきたい。病院内で改善できるはず。</p> <p>③デマンドバスを進めるべき。タブレットを提供して、予約を取ったらどうか。必要な時に必要なところへ行けるようになる。タクシーで病院に行けば往復5000円かかる。散髪に行くにも同じ状況である。</p> <p>→どういうふうに導入するかは、意見がそれぞれある。タブレットを高齢者が使えるか、との問題もある。何しろ走らさなければならぬ。市が直接走らせることはない。市内のタクシー業者に任せる。タクシー会社の赤字分のカバーをできる様にして委託すべき。客単価は下がるが安定すると思う。</p> <p>④桜江には、タクシー会社が2社ある。コミュニティで独自にバスを走らせれば、会社の営業妨害になる。</p>

	<p>⑤三江線廃止の問題もある。早急に対策をしてほしい。</p> <p>→三江線はこれから代替案をつめていく。議会からも意見を言うようにしたい。市民の利便性の向上が目的だ。皆さんの意見を聞く機会をつくっていく様に進めていきたい。</p> <p>→県知事のほうでは、届け出制から許認可制にするよう、国に鉄道事業法の見直しを求めている。</p> <p>●行政の配布物の手数料が 15 年間、800 円で変わっていない。1000 円くらいにすべきではないか。</p> <p>→手数料については、市に伝える。</p> <p>●連合自治会は任意団体だから、自治会の行事等を広報に乗せることはできないといわれた。コミュニティとは違うということか。</p> <p>→よくわからないが、各地区の集まりなので力がないわけではない。認めてないとは思わないが、総務に確認しておく。</p> <p>●都会では任意団体の位置づけ。自治会に入らない人には行政が郵送している。現状は、利用している。</p> <p>→二宮町青山などはアパートの若い人は、自治会に入っていない。強制もできない。そういった意味での任意団体といういこと。苦労は分かる。自治会に入らない人には広報は配っていない。</p> <p>●生活交通は事業者との共存共栄を考えなければならない。これから考えていきたい。</p> <p>●再生エネルギーは、業者向けの支援策があるが、市民が享受できる仕組みができていない。バイオマスの利用促進についても市民向けの支援策が抜けていると思う。まきストーブ、まき風呂、田舎に来ればまき風呂などがあるというふうに付加価値をつけるべきでは。ここへの支援が必要ではないか。県の補助金を還元してはどうか。</p> <p>→その通りだと思う。バイオマス発電、10 tトラックで1日30台搬入している。ヤシガラを混ぜて燃焼させている。庄原市などで、まきストーブを進めていることも参考にしたい。</p>
<p>その他特記事項</p>	<p>アンケート結果</p> <p>1.全体的に感想や気がついた点は。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○時間帯として、昼のほうが出やすい。(3人) ○開催日案内の徹底をする工夫とお知らせは大きくしてほしい。 <p>2.パネルディスカッションについて、感想や気がついた点は。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○住民にとって切実な問題なので良かった。 ○個々の議員の意見が聞けたので良かった。 ○総論ばかりで具体的方向性が見いだせないのが、良くない。 ○中期的視点が少ないことが分かった。 ○意見のみで決定ができないということが分かった。

	<p>○市民、住民との対話が少ないので、つまらない。価値がない。</p> <p>3.江津市議会の活動について、ご意見は。</p> <p>○防災無線で一般質問の順番と一緒に、質問の題目を紹介してほしい。</p> <p>○一般質問の中継を再放送してほしい。</p>
--	--

28年 12月 2日

江津市議会議長 田中 直文 様

市山地区報告会責任者 永岡 静馬 ㊟

江津市議会報告会実施報告書

開催日時	28年11月19日（土）19時00分～20時40分	
開催場所	和木地域コミュニティ交流センター（和木町）	
出席議員	責任者 森脇 悦朗 報告者 島田 修二 藤間 義明 石橋 孝義 記録者 永岡 静馬	
参加市民数	5人	
実施内容報告	各委員会報告	<p>総務文教委員会・・・陳情第5号、市税条例改正案の説明、辺地に係る総合計画を定めることについての議案説明</p> <p>建設厚生委員会・・・特別職の職員で非常勤の報酬・費用弁償に係る条例改正について議案説明</p> <p>予算委員会・・・スライド写真に基づき主な9月補正予算内容説明</p> <p>決算特別委員会・・・現地調査、スライド写真に基づき事業説明、討論、要望事項について説明</p> <p>その他・・・意見書について説明</p>
	パネルディスカッション	<p>「地域経済活性化について」</p> <p>1.市内の地域経済の現状について</p> <p>司会：市では総合戦略を策定し、4つの基本目標を立て実行している。今回基本目標の1「生業を増やし安定した雇用をつくる」に関連し地域経済の活性化をテーマに挙げた。駅前ホテル開業、企業進出の明るい話題があるが、グリーンモールの経営譲渡、タクシー会社の縮小といった話がある。市内の現状・課題についてどう見ているか。</p> <p>島田：企業進出や若い人が起業するなど明るいこともあるが、人口減少により地元商店など経済が縮小している。農業・林業・漁業にしても担い手不足が深刻化している。</p> <p>藤間：グリーンモール、タクシー会社とか大変な状況であり、地場産業である瓦産業も厳しい状況。有福温泉など観光業も厳しい。一方企業が進出もあり、求人倍率は1.47ある。雇用は良い方向であり、良いところと悪いところが混在している。</p> <p>石橋：企業進出もあり、労働条件の改善は見られるが、購買環境には安定した経営が必要である。小規模商店、共同店舗など現状は大変厳しい。</p>

	<p>2.地域経済の今後について</p> <p>司会：市では産業活性化支援事業や中小企業等競争力強化支援事業などを行っている。市内経済が活性化するためにどういったことが考えられるか。</p> <p>島田：商売は「人・物・金」があれば成立する。市内の企業もこの3要素があれば勝てると思う。人については人口減少により人材確保がむずかしい。物についてはいい物を作らないと競争できない。行政による既存企業に対してのソフト的なアドバイスや経営改善等の指導が大切であり、人材など雇用環境を整えていくことが地域経済活性化につながる。</p> <p>藤間：市では地方創生の方針のもと、総合戦略にある4つの基本目標、142の項目の工程表をチェックするようにしている。そのことにより5年間で200人の雇用を増やす。新しい分野、6次産業化やバイオマス、ビジコン、企業誘致、市内観光の振興、パレットごうつの活用などを具体的に実施することが重要。</p> <p>石橋：民業の活性化が前提で、お金を出せばよいでは続かない。提案に基づき支援すべきで、プレゼン力を行政、商工会がアドバイスしていく必要がある。工業団地の拡張が完成する前にアクションを起こし、全員営業で取り組むべき。全国には成功している実例がある。現状に少し目先を変え、成功している人の知恵をもらい小さな市であっても成功すると思う。</p> <p>司会：様々な意見があったが、企業進出はあっても雇用と求人がマッチングしていないこともある。そのためには教育も重要となる。いずれにしても地域経済が活性化するためには、商品を市外、国外に売り外貨を稼ぐ。観光振興も必要。市民にできることは、市内で消費することだと思う。</p>
<p>要望・意見等</p>	<p>○30年ぶりに地元へ帰ってきた。和木保育所が廃止となるそうだが、跡地利用は決まっているのか。</p> <p>石橋：決まっていないが、地元から提案を出すと良いと思う。</p> <p>○子供の姿を見ない。子供の遊ぶ場がない。自然が廃れている。</p> <p>○和木小、嘉久志小は民有地なので仕方がないが、いちご山公園などは公有地でもっと有効活用したほうが良い。</p> <p>司会：総合管理計画を策定中であり、跡地をどうするかは地域住民の意見を聞くことにしている。推移を見てほしい。</p>

	<p>○地域経済活性化にはこれまで 10 年計画でやってきたが、かつて人口を増やすとしてきたが今は、人口減少が前提となってきた、観光面はどうなっているか。また、済生会について入院したとき、一人の看護師により手術室に運ばれた。大変な状況はわかるがどうなっているのか。</p> <p>藤間：有福温泉駐車場を整備している。風の国は経営が大変だが、従業員の指導に力を入れている。済生会についてはこれからも存続していただかなければならない。</p> <p>島田：交流人口はにぎわいのあるところ、魅力のあるところ集まる。発信はできても地元の魅力がないと人は来ない。お金を掛けずに自然を活用することも大事。山陰道はメリットもあるがデメリットもある。江津に魅力がなければ素通りしていく。地域医療、医師について島根県は全国的には上位だが、地域偏在している。医師確保に市長は取り組んでいるが、県・国の問題であり、制度の改善が必要である。</p> <p>○空き家対策について自治会長として大変苦慮している。崩れた家にバリアードだけの対応で、危険空き家の対応はどうなっているか。</p> <p>藤間：今後条例制定をしていくが、今は国による措置法で対応している。持ち主がわかればお願い文書を出している。空き家の解体費用の助成をしている自治体もあるが、江津市にはまだない。行政代執行もできるがむずかしい。</p> <p>○早く条例を制定すべき。</p> <p>石橋：2年位前から取り組んでいる。人がけがをしてからでは遅い。条例は必要であり、やるきがあればすぐできると思う。</p> <p>司会：貴重な意見ありがとうございました。</p>
<p>その他特記事項</p>	<p>アンケート結果</p> <p>1.開催日・時間は。 良い 3 良くない 2 ○日中が良い。 ○報告が長くて意見交換が不十分。もっと質問したかった。</p> <p>2.委員会報告は分かりやすかったか。 分かりやすい 3 わかりにくい 1 どちらでもない 1 ○時間が短い。 ○説明が分かりやすかった。</p>

	<p>3.パネルディスカッションのテーマはよかったか。 良い 4 どちらでもない 1 ○地域経済化は待ったなし。 ○具体的な話がない。 ○時間が短い。</p> <p>4.議員個人の意見や考えが聞けたか。 分かった 4 どちらでもない 1 ○上手に話をされた。</p> <p>5.次回も参加したいか。 思った 3 どちらでもない 2 ○江津市の色々な情報が聞けて良かった。</p> <p>6.その他お気づきの点 ○参加者少ない状況をいかに。 ○議会報告会そのものが最初の頃より数段良くなったような気がした。</p>
--	--

28年 11月 22日

江津市議会議長 田中 直文 様

地区報告会責任者 森 脇 悦 朗 ㊟

議会報告会アンケート

平成28年 11月

会場	開催日・開催時間は良かったですか			委員会報告は分かりやすかったですか			パネルディスカッションのテーマは良かったですか			議員個人の意見や考えを知ることができましたか			次回、議会報告会にも参加したいと思いましたが		
	よかった	よくなかった	どちらでもない	分かりやすかった	分かりにくかった	どちらでもない	よかった	よくなかった	どちらでもない	分かった	分かりにくかった	どちらでもない	思った	思わなかった	どちらでもない
東部 (波積)	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0
中部 (和木)	3	2	0	3	1	1	4	0	1	4	0	1	3	0	2
西部 (跡市)	5	0	2	4	2	1	2	2	3	5	1	1	3	1	3
南部 (市山)	2	2	2	5	1	0	5	1	0	5	1	0	5	1	0
計	12	4	4	14	4	2	13	3	4	16	2	2	13	2	5

1. 開催日・開催時間は良かったですか？

《中部》

- ・日中が良い（よくなかった）
- ・報告が長くて、意見交換が不十分だった
もっと質問したかった（よくなかった）
- ・出やすい時間（よかった）

《西部》

- ・参加意識の問題で、開催されることに意義がある（どちらでもない）
- ・土曜日であればもう少し早い時間、18時30分でもよかったのでは（どちらでもない）

《南部》

- ・昼にすれば、現役世代の人が参加しにくいでしょうし、夜は高齢者は出にくいし、どちらに働きかけるかにより判断が必要と思います（ど

ちらでもない)

- ・昼にしてほしい (よくなかった)
- ・昼がよい 13時～ (よくなかった)

2. 委員会報告は分かりやすかったですか？

《中部》

- ・説明がわかりやすかった (分かりやすかった)

《西部》

- ・要点が絞ってない (分かりにくかった)
- ・話がむずかしいとチラホラ聞こえた (どちらでもない)
- ・時間が短い (どちらでもない)

3. パネルディスカッションのテーマはよかったですか？

《中部》

- ・具体的な話がない (よかったが)
- ・地域経済の活性化は“まったなし” (よかった)
- ・時間が短い (どちらでもない)

《西部》

- ・主張、論点整理が出来ていない。時間がもったいない。(よくなかった)
- ・話の内容がよくわからない方もおられたので、もう少しわかりやすく話す (よかった)
- ・空き家対策は、ライフラインが整備されていないので、テーマとしてどうでしょうか (どちらでもない)
- ・地域に即してない (よくなかった)
- ・危険空き家、定住対策、空き公共施設と話が混じって分かりにくくなっ

た（よかった）

《南部》

- ・住民にとって切実な問題となっていることですから（よかった）
- ・総論ばかりで具体的方向性が見いだせないので（よくなかった）

4. 議員個人の意見や考えを知ることができましたか？

《中部》

- ・上手に話された（分かった）

《西部》

- ・レベルの濃淡を知ることができた。もっと勉強してほしい。（分かった）
- ・それぞれの議員の観点がわかる（分かった）

《南部》

- ・パネルディスカッションで個々の議員の意見が聴けました（分かった）
- ・中期的視点が少ないことがわかった（分かった）
- ・意見のみで決定が出来ない（分かった）

5. 次回報告会にも参加したいと思いましたが？

《中部》

- ・江津市のいろいろな情報が聞けて良かった（思った）

《西部》

- ・言い訳ばかりで前向きの考えがない
ニーズに合致していない。（思わなかった）
- ・今までよりパネルディスカッションが良かった（思った）
- ・地域課題を抽出した討論を（どちらでもない）
- ・参加者は少なかったが、住民の意見が（思った）

《南部》

- ・地域の意見が聞けて良かった（思った）
- ・市民、住民との対話が少ないのでつまらない、価値がない（思わなかった）
- ・報告会のお知らせは大きくしてください（思った）

6. その他お気づきの点など

《中部》

- ・参加者がいない状況はいかに？
- ・議会報告会そのものが、最初の頃より数段良くなったように感じました。

《西部》

- ・意見交換会の時間をもう少し拡大していただきたい。
市民・住民の生の声を聴く機会です。
- ・パレットごうつは使用しにくい！
- ・意見交換の時間をもう少し長くとっていただきたい。
- ・若い人の出席が少ない。
- ・意見交換の時間が足りない感じであった。
- ・もう少し多くの人参加があれば良いと思いました。
意見を聞く良い機会になりました。

《南部》

- ・防災無線で一般質問の順番と一緒に、質問の項目を紹介してほしい
- ・一般質問の中継を再放送していただけませんか